



Wismettac Letter

ウィズメタックレター

ビジネスレポート

Business Report

2019.1.1-2019.12.31

世界の食産業に
かかわる諸問題を解決し、
新たな価値を創造・提供する
グローバルソリューション
カンパニー

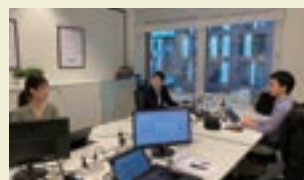
もっと知りたい!

西本Wismettacホールディングス

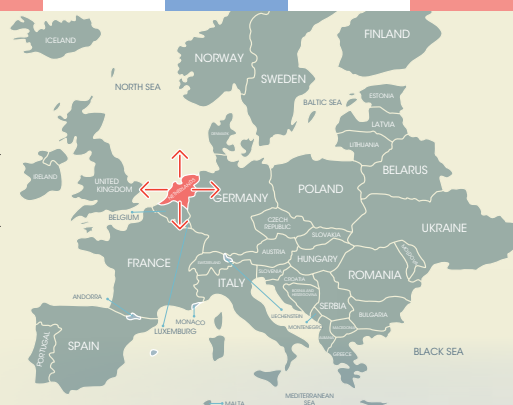
今回は**オランダ**の日本食販売事業についてご紹介

欧州最大の貿易港ロッテルダム港から欧州各国へ販売

当社グループのオランダ拠点NTC Wismettac Europe B.V.(以下Wismettac Europe)は、首都アムステルダム近郊に所在しています。日本食・アジア食材をコンテナ単位で輸入し、物流の欧州ハブと言われるロッテルダムに在庫をし、自前の配送機能を持たず、欧州各国の卸売会社にパレット・コンテナ販売を行っています。加えてマーケティング活動も行っています。当社グループの仕入れ力を駆使し、競争力のある価格によって、



各取扱い商材のマーケットシェアを伸ばさせていきます。



Wismettac EuropeについてManaging Director 山口 読士がご紹介します。

Q1

当社グループの他拠点と比較したときのビジネスモデルの特徴を教えてください。

欧州の他拠点(イギリス、ドイツ、フランス)の主な販売先は、レストラン及び小売店ですが、当拠点は、卸売会社(日本食材・アジア食材卸、現地卸、水産卸等)中心です。欧州約25ヶ国へ日本食材を販売しています。各国のビジネスパートナーとの関係を強固にすることで、当社グループ拠点のない国でのマーケットシェアの拡大・当社グループのプレゼンスを高めていくことが、当拠点の使命となります。

Q2

日本食について、欧州のトレンドを教えてください。

ベジタリアン・ビーガン向けの植物由来の食材・食品の需要が伸びています。ベジタリアン向け寿司メニューも増えており、レストランも増えています。このようなトレンドの中でベジタリアン向け寿司ネタ[Ahimi](トマトベースのマグロ代替品)や、肉の代替品として「大豆ミートを使用したグルテンフリー餃子」の取り扱いを開始しました。また、欧州においては、水産資源保護やサステナビリティへの意識が高いことから、当拠点としてASC/MSC CoC認証*を取得し、ASC/MSC認証を受けた冷凍水産物の取り扱いも開始しました。

*ASC/MSC CoC認証…ASCやMSCの非認証の水産物の混入を防ぐため、製品がたどってきた経路を辿ることができるようトレーサビリティを確保する仕組み。ASC認証は養殖の水産物を、MSC認証は天然の水産物を対象としています。



Wismettac Europe
Managing Director
山口 読士
(やまぐち とくじ)

食を取り巻く環境が激変する中で、当社グループの新しい形の企業への構造転換を図ります。

株主・投資家の皆様におかれましては、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年は、海外ではアメリカ・中国を中心とした通商問題、中国経済の成長鈍化及び英国のEU離脱問題、国内では消費税の引き上げ等を背景に、世界景気に対するリスクの大きな一年でした。そういった中、食品業界においては、世界での食料需要が引き続き拡大しており、特に原料に近い食材において緩やかな価格上昇が続いております。また、食品流通にかかる人件費や物流関連経費の高騰も常態化しております。他方では、食とTechnologyを融合させた「Food Tech(フードテック)」が広まってきており、例えば、生産分野では栽培・養殖技術や食品開発が飛躍的に進み、また流通分野ではネット通販や宅配も含めた供食形態の多様化が進行しております。

このように食を取り巻く環境が激変し、多種多様な課題がある中で、当社グループでは、既存事業に加えて、長年に渡り培ったグローバルネットワークを活用し、新たな収益の柱としてのグローバルソリューション事業を育成しております。具体的には、世界各地域を網羅する当社グループの顧客が、今日の急速に進化するデジタル化社会において直面しつつある諸問題に対し、当社が最新のテクノロジーを有する大学等の研究機関やイノベーション企業と協力することにより、ソリューションを提供するというものであります。グローバルな食の流通段階の中間に位置し、食の業界に内在する諸問題を認知する当社グループの独自性を活用した新しい独特の形の企業への構造転換、と申し上げて良いのではないかと考えております。



代表取締役会長兼社長 CEO 洲崎 良朗

2019年12月期の事業の概況

このような中、2019年の業績としましては、売上高は1,826億円(前期比0.2%増)、営業利益は43億円(前期比35.2%減)、経常利益は45億円(前期比30.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は24億円(前期比46.1%減)と増収減益となりました。

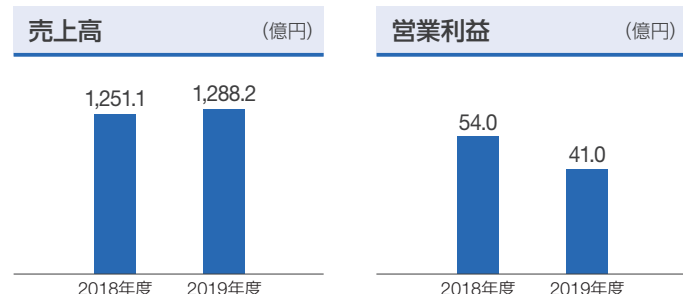
2019年12月期 経営成績

売上高	182,603百万円
営業利益	4,343百万円
経常利益	4,543百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,493百万円

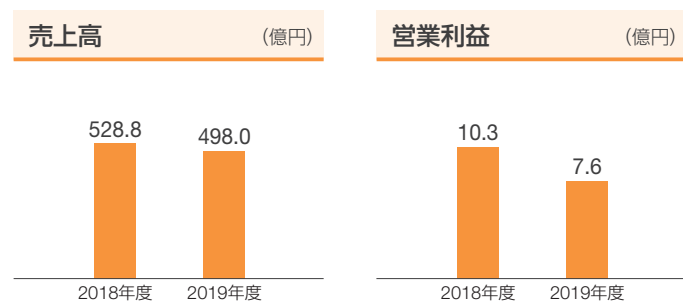
セグメント別で見ますと、日本食を中心とするアジア食グローバル事業におきましては、売上高は堅調に推移し、米中関税問題やナショナルブランド商品の値上げ等による原価上昇についても適切な価格転嫁を実施してきております。しかしながら、世界的な物流コストの上昇や英国子会社のブレグジットの混乱による一時的な収益低迷に加え、日本食の新規商材ラインの開発・販売経費を計上したことで、減益となりました。農水産商社事業におきましては、国内における柑橘類・トロピカル商材の市場価格低迷、及び関税問題に起因する中国子会社における米国産柑橘類等の販売低迷に伴い、減収減益となりました。

独自性を活用した

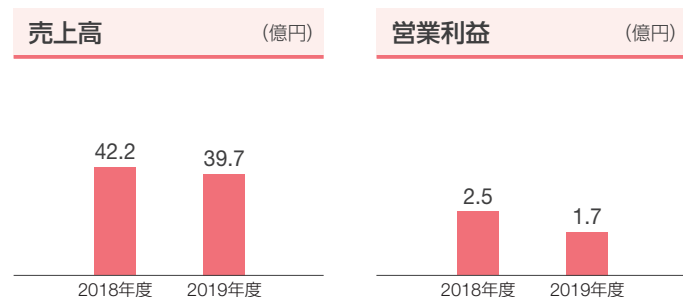
▶ アジア食グローバル事業



▶ 農水産商社事業



▶ その他事業



政策経費(新規収益事業開発費用)の計上は、自己改革(事業構造改革)と将来に向けた投資として、主に人材採用とデジタル化投資を行っているものです。当該先行経費については計画に織り込んでおりましたが、各拠点での人材投資を前倒しで実行したことなどから営業利益減益幅が拡大することとなりました。

2019年12月期の減益要因

アジア食グローバル事業

- 北米地域における人件費及び物流部門経費の高止まり
- 英国子会社における為替変動に伴う仕入原価の上昇

農水産商社事業

- 国内における青果全般の販売苦戦及び販売単価の下落

2020年12月期の取り組みと見通し

2020年は、売上高は2,058億円(前期比12.7%増)、営業利益は30億円(前期比29.7%減)、経常利益は31億円(前期比30.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は28億円(前期比13.8%増)と予想いたします。既存事業のデジタル化改革と新事業への積極的な投資を加速することから2019年度に引き続き減益とはなるものの、これらは来るべき新しい食の業界での成功に向けた必要な取り組みと確信しております。2022年までの新たな中期経営計画は2020年度第2四半期決算発表の際に併せてご説明いたします。

2020年度の数値目標

売上高	205,835百万円
営業利益	3,052百万円
経常利益	3,143百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,836百万円

2020年12月期の取り組み

既存事業のデジタル化改革と新事業への積極的な投資を加速

アジア食グローバル事業

- 北米地域におけるマーケット多様化、コスト構造の変化に対応できる事業構造の改革の推進
- 北米以外の地域における日本食市場の拡大の取り込み
- 持分出資の欧州2法人を子会社化し事業基盤を一層拡充

農水産商社事業

- 国内卸売市場への販売維持・利益確保
- 量販店・中食・外食・食品メーカー及び海外販路の拡大

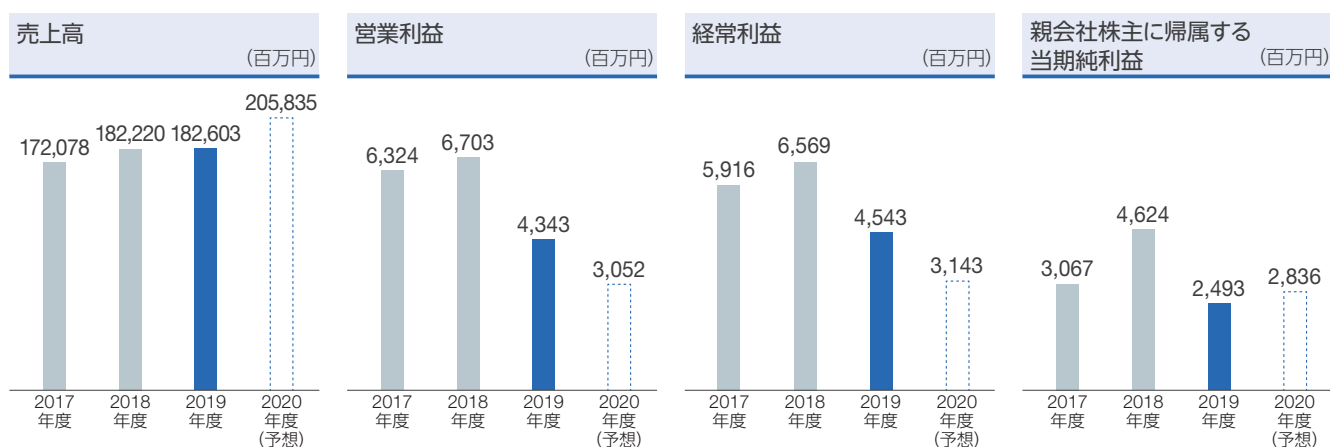
株主の皆様へのメッセージ

利益還元としましては、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、30%を目途とした配当性向を安定的に堅持することを基本方針としております。2020年につきましては、この方針を維持し、普通株式1株につき中間25円、期末35円、合計で年間60円を予定しております。

今後とも世界的に市場の拡大が見込める既存事業の発展と同時に全く新たな事業を積極的に展開することにより中長期的な企業価値向上に努めてまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度(予想)
売上高	(百万円)	172,078	182,220	182,603	205,835
営業利益	(百万円)	6,324	6,703	4,343	3,052
経常利益	(百万円)	5,916	6,569	4,543	3,143
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	3,067	4,624	2,493	2,836
純資産	(百万円)	49,753	51,521	52,337	—
総資産	(百万円)	84,336	83,719	96,587	—
1株当たり純資産	(円)	3,466.38	3,589.58	3,646.41	—
1株当たり当期純利益	(円)	236.37	322.18	173.71	197.64
自己資本比率	(%)	59.0	61.5	54.2	—
ROE	(%)	6.9	9.1	4.8	—



2019年12月期 セグメント別の概況

売上高構成比 (%)



ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容やニュース&トピックス、西本Wismettacグループの概要についてご紹介しています。また、株主・投資家情報のページでは最新の財務・業績の情報のほか、IRに関するニュース、IRライブラリーなど様々な情報をご提供しています。是非一度ご覧ください。



西本ウィズメタック

検索

<https://www.wismettac.com/ja/index.html>



世界の西本Wismettac



海外からの
“声”

西本Wismettacグループは世界中で事業を展開しております。

Wismettac Europe



Wismettac Europe
Senior Manager

黒田 佳彦
(くろだ よしひこ)



Wismettac Europeでの業務内容、仕事のやりがいについて教えてください。

私は2017年にオランダに赴任し、主に新規国・新規顧客の開拓営業を担当しています。当社はオランダを拠点としていますが、営業先は欧州全土が対象となり、現在欧州内20ヶ国以上に販売を行っています。これまで取引の無かった国や地域に当社の商品を浸透させていくことにやりがいを感じています。国ごとに異なる食文化や商習慣を考慮しなければならない難しさはありますが、大抵の課題は当社グループが100年以上にわたり世界各地に日本食を広めてきた過程で既に経験してきたものです。その経験や実績の上で、新たな取り組みにチャレンジできることが当社グループの最大のアドバンテージだと考えています。私たちが助けられているのと同じように、欧州での成功が、いつか別の地域で活躍する同僚達の助けになると信じ、日々の業務に励んでいます。



新商品の開発・導入について、市場ポテンシャルのある商材はどのような観点で見えますか？

いつでも新商品が開発できるに越したことはないのですが、一つの市場で仕事をしていると、顧客も販売者も同じ価値観に固執してしまい新しいアイデアが生まれなくなってしまうことがあります。しかし、当社グループは全世界に自社の販売・仕入拠点を持っているの、そこから成功事例や新しいトレンドの情報を入手することができます。ある市場では見慣れた商品でも、販売先が変われば全く新しい商品として認知されることがあります。最近当社が欧州で販売を開始した、Ahimi(トマトベースのマグロ代替品)やグルテンフリー餃子、冷凍アボカドもその例です。別の市場では既に販売されていた商品ですが、欧州のアジア食材卸としては、どれも当社が一番に導入した商品です。商品開発や仕入面においても、全世界にネットワークを持つことが当社の強みであり、情報共有をし続けることが大切だと考えています。

現地働く社員に聞く!

海外の日本食事情

日本で高級食材として食べられているあの魚がオランダでは…?

オランダは北海に面しているため新鮮な魚介類が豊富なことに加え、農産物の輸出額はアメリカに次いで世界第二位となっており、とても豊富な食の資源を有している国です。日本では蒲焼か白焼で食べることが多い鰻は、オランダでは伝統的に燻製鰻として食されています。脂が乗っていてとても美味しいです。また、オランダではコロッケ等が専用自動販売機で売られているほど揚げ物の消費量が多いです。当社においてもエビフライ・天ぷら粉の販売量は他国向けよりも多く、日本食以外にも使用されています。



News & Topics

ベトナムの日本食卸売会社SIM BAと資本業務提携

ベトナムでの更なる成長と市場シェア獲得を目指し、日本食卸大手のSIM BA TRADING COMPANY LIMITEDと資本業務提携契約を締結いたしました。ベトナムは外食市場の成長が顕著で、今後も堅調に推移すると予想されます。本提携により、ベトナムにおける当社グループ商品の更なる販売拡大をはかるとともに、両社のナレッジを共有し、商品開発、新商材の投入など多面的なビジネス展開を目指してまいります。

株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、年1回株主優待を実施しております。



株主優待制度の概要

1 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様

WebサイトURL

<https://www.hello-worldgift.com/>

スマートフォン・携帯電話はこちらからアクセス



2 優待の内容(2019年度)

当社グループが運営する商品購入サイト「NISHIMOTO WORLD GIFT」でご利用いただけるクーポンコード(1クーポンコード=3,000円相当)を記載した優待券を、定時株主総会決議のご通知に同封し、贈呈いたします。

保有単元数(保有株式数)	クーポンコード個数
1~3単元(100株以上400株未満)	1個(3,000円相当)
4~6単元(400株以上700株未満)	2個(6,000円相当)
7単元以上(700株以上)	3個(9,000円相当)

※1回の商品ご購入で、1クーポンコードのみご利用いただけます。



2019年12月末日時点の株主様にご送付するクーポンコードのご利用期間 **2020年4月~2020年12月末日**

お問合せ先

Wismettac フーズ株式会社ワールドギフトカスタマーサービス

0120-096-810

9:00~17:00
(土日祝、年末年始休業日を除く)

会社情報 (2019年12月31日現在)

会社概要

社名	西本Wismettacホールディングス株式会社 (英名)Nishimoto Co.,Ltd.
創業	1912年5月
本社所在地	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階
資本金	2,646,177,532円

役員 (2020年3月26日現在)

代表取締役会長兼 社長 CEO	洲崎 良朗	取締役 (常勤監査等委員)	木村 敦彦
取締役	辻川 弘	社外取締役 (監査等委員)	能見 公一
取締役	佐々 祐史	社外取締役 (監査等委員)	大村 由紀子
取締役 グローバルCDO	行徳 セルソ		

国内・海外拠点

〈日本〉

西本Wismettacホールディングス株式会社
 ・東京本社、神戸本店（※登記本店）

Wismettacフーズ株式会社

- ・東京本社、神戸本店（※登記本店）、神戸支店、神戸支店 東部営業所、沖縄駐在員事務所

〈北米〉

Wismettac Asian Foods, Inc.

- ・Los Angeles Office (Corporate Headquarters)、Atlanta Office、Chicago Office、Dallas Office、Denver Office、Miami Office、Hawaii Office、Houston Office、Las Vegas Office、New York Office、San Diego Office、San Francisco Office、Seattle Office、Washington, DC office、Toronto Office、Vancouver Office、Montreal Office、Orlando Office、Boston Office (Satellite Office)、Sacramento Office (Satellite Office)、Calgary Office (Satellite Office)、Ohio Office (Satellite Office)、Raleigh Office (Satellite Office)

〈アジア〉

Wismettacフーズ株式会社

- ・バンコク駐在員事務所、ホーチミン駐在員事務所、ソウル駐在員事務所

慧知旺食品商貿（上海）有限公司

愛品盟果業貿易（上海）有限公司

NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.

慧思味達日本食品有限公司

〈オセアニア〉

NTC Wismettac Australia Pty Ltd.

- ・Sydney Office、Melbourne Office、Perth Office、Brisbane Office

〈ヨーロッパ〉

Wismettacフーズ株式会社

- ・パリ駐在員事務所

NTC Wismettac Europe B.V.

Wismettac Harro Foods Limited

SSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH

COMPTOIRS DES 3 CAPS SARL

- ・Comptoirs Oceaniques
- ・Cap Cavally
- ・Tropic Fish

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	14,353,140株
株主数	3,519名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
多津巳産業株式会社	6,235	43.4
洲崎良朗	2,910	20.3
公益財団法人洲崎福祉財団	1,300	9.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	480	3.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	380	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	247	1.7
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000	204	1.4
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	198	1.4
GOVERNMENT OF NORWAY	156	1.1
金井孝行	140	1.0

(注1) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
 (注2) 持株比率は、自己株式112株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	12月31日
剰余金の配当の 基準日	中間配当 毎年 6月30日 期末配当 毎年12月31日
1単元の株式数	100株
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 公告掲載URL https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html

世界の食の架け橋として貢献

Wismettac (ウィズメタック) とは



「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体を
 ・革新の「赤」+自然の「緑」
 ・「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」

社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

【Wisdom】…西洋智
 【Metta】…東洋智
 (パーリ語: 優しさ/思いやり)
 【Creativity】
 …価値の創造力

西本Wismettacホールディングス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階
 Tel: 03-6870-2015 Fax: 03-6870-2016

